



## 身体障がい部会

### 【目的など】

当事者・家族・支援者が定期的に集まり、障がいのある人が日々の生活で困っていること等様々な意見を汲み上げ、解決策を検討しています。また、障がいがあってもスポーツを楽しめ交流を持つためのきっかけづくりや、安心して外出できる街づくりのための取り組みを行っています。

### 【構成団体】

①廿日市市障害者福祉協会②大野障害者団体連絡協議会③廿日市市障害者団体連絡会④視覚障害者の会「椿会」⑤全国障害者問題研究会廿日市サークル⑥佐伯地区ろうあ協会廿日市支部⑦広島ひかり園家族会⑧広島ひかり園

### 【これまでの主な取り組み】

- ・おりづる出前教室  
健康づくり講演会・ストレッチ・料理教室・レクスポ体験会・体力測定（平成22年度～）
- ・まち点検実施  
廿日市市役所駅前～JR宮内串戸～阿品駅、フジグラン（平成23年度）  
宮島口駅周辺（平成24年度）  
宮島（平成25年度 ※廿日市市障害者福祉協会「広島大学地域連携推進事業」協働）
- ・広電廿日市駅周辺のバリアフリー状況学習（平成24年度）

### 【平成26年度 取り組み計画】

- ①おりづる出前教室（7月3日、10月11日）
- ②生活アンケートの検討
- ③第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み

### 【平成26年度 取り組み報告】

今年度は、おりづる出前教室、まち点検（宮島）、第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組みを実施しました。

おりづる出前教室は計2回開催しました。1回目は7月に広島ひかり園でのレクスポ、2回目は10月に余暇活動支援ワーキングが開催した「障がい者スポーツ体験会」に参加するかたちでの開催となりました。

まち点検（宮島）は、廿日市市障害者福祉協会（広島大学地域連携推進事業）が作成された「宮島安心ガイドマップ」が完成したことをうけ、マップを使用して実際に宮島をまわり、点検を行いました。

第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組みとしては、日々の生活で困っていること等の意見とその解決策を障がい者計画の中に位置づけるために、毎月定例会を開催し、第二次廿日市市障がい者福祉計画の読み合わせ、各団体が回答したヒアリングシートの共有をし、意見の集約を行いました。

その他、2月に、視覚障がい者の会「椿会」を中心に、「視覚障がい者のための福祉機器と日常生活用具の展示会」を開催します。

また、生活アンケートについては、障がい者計画・障がい福祉計画のアンケート結果に基づいて、来年度以降、実施に向けて検討していくことにしています。



おりづる出前教室（体力測定）



おりづる出前教室（料理教室）



まち点検



身体障がい部会定例会

## 知的障がい部会

### 【目的など】

家族会や本人・家族を支援している事業所が集まり、個人や一団体だけでは解決できない地域課題を共有し、行政や関係団体と連携しながら、その課題解決に向けて取り組んでいます。部会内の情報交換や学習会等の実施により、団体間の親睦も深まっています。

### 【構成団体】

①ピクトハウス家族会②友和の里保護者会（通所部）③友和の里保護者会（入所部）④廿日市市手をつなぐ育成会⑤くさのみ作業所家族会⑥障害者施設・原家族会⑦おのおの手をつなぐ育成会⑧ファミリーレ⑨ハーモニーOBG会⑩広島県立廿日市特別支援学校PTA⑪虹の会⑫くさのみ作業所⑬ピクトハウス⑭友和の里⑮ワークハウスアダージョ⑯障害者支援施設原⑰大野ふれあい生活介護事業所

### 【これまでの主な取り組み】

- ・アンケート（生活の場、ショーステイ等に関するニーズの把握）実施（平成20年度）
- ・リーフレット「なってください！サポーターに」作成（児童部会と共同）（平成20年度）  
→イオン社員研修会（平成23年度）  
→廿日市警察署管内コンビニエンスストア連絡協議会に参加（平成24年度）
- ・就労、グループホーム、ケアホームの現状把握（平成21年度）
- ・「サポートファイル学習会」（児童部会・ライフステージにおける発達支援部会と共同）（平成22年度）
- ・部会構成施設見学（平成23年度）
- ・サンチェリープール利用における対応改善（平成23年度）
- ・「東日本大震災被災体験講演」（平成24年度）
- ・社会福祉法人若葉視察（平成25年度）
- ・「要援護者避難支援制度学習会」（平成25年度）
- ・おりづる出前教室「ゆるゆるビクス」「レクスポ」など（平成23年度～）

### 【平成26年度 取り組み計画】

- ①訪問理・美容院、医療機関の情報収集（余力があれば）
- ②おりづる出前教室  
5月29日（木）ゆるゆるビクス（友和の里）  
12月10日（水）ゆるゆるビクス（くさのみ作業所）
- ③第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み

### 【平成26年度 取り組み報告】

今年度は第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組みとおりづる出前教室を実施しました。

第3次廿日市市障がい者計画・第4期障がい福祉計画策定に向けた取り組みでは、第二次廿日市市障がい者福祉計画の読み合わせと新たな課題抽出を行いました。

おりづる出前教室では、スポーツ交流センターのスポーツ指導員さんに友和の里（5月29日）、くさのみ作業所（12月10日）にお越しいただき、ゆるゆるビクスを行いました。柔軟体操や音楽に合わせて手足を動かしながら全身を使う体操を楽しむことができました。

また、余力があれば行うこととしていた訪問理・美容院、医療機関の情報収集は来年度行うこととなりましたが、今年度も各団体の近況報告等を通していろいろな情報交換を行うことができました。



毎月1回の定例会



社会福祉法人若葉視察



おりづる出前教室（ゆるゆるビクス）

## 精神障がい部会

### 【目的など】

廿日市市の精神障がいのある人やご家族が安心して地域生活を送るために、当事者・ご家族・支援者などが定期的に会議を開催し、情報共有や、研修など地域啓発に取り組んでいます。

### 【構成団体】

①精神障害者家族会さくら会②精神障害者家族会こぶし会③大野精神障害者家族会あいあい④脳外傷友の会「広島シェイキングハンズ」廿日市市地区会⑤さくら作業所⑥あいあい作業所⑦友和病院⑧訪問看護ステーションゆうわ⑨訪問看護ステーションこころ一れ廿日市⑩エスペランサ⑪にじのえき⑫コーヒーショップあんず⑬ハナミズキ⑭さくら相談支援事業所⑮相談支援事業所エスペランサ⑯広島県西部保健所⑰市社会福祉協議会

### 【これまでの主な取り組み】

- ・研修  
「大切な人の命を守るために」（平成21年度）  
「睡眠は脳と心の栄養」（平成22年度）  
「“地域で暮らしたい”をサポートするために」（平成22年度）  
「ヘルパーさんのための精神保健福祉講座」（平成23年度）
- ・おりづる出前教室（平成23年度～）
- ・当事者主体の地域交流事業  
土師ダム（平成24年度）  
みやじま丸 de クルージング（平成25年度）

### 【平成26年度 取り組み計画】

- ①家族会に向けての研修の実施
  - ②おりづる出前教室（11月12日・2月5日）
  - ③第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み
- ※計画策定の為、隔月開催だった部会を毎月開催とする



おりづる出前教室



地域交流事業（備北丘陵公園）



定例会の様子



研修会での様子

### 【平成26年度 取り組み報告】

- ①家族に向けた研修会の実施
  - ・講演会「こころの病を持つ人への対応を知ろう」を実施（廿日市市健康推進課・さくら作業所・さくら会で実施）
- ②おりづる出前教室
  - ・11月12日 佐伯地域（18人が参加）
  - ・2月5日 廿日市地域（23人が参加）
- ③第3次廿日市市障がい者計画、第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み
  - ・前回の計画の振り返り
  - ・市が実施するアンケートの素案に対して意見
  - ・市が実施したヒアリングの情報共有
  - ・事業所利用者に対しての計画策定の説明とヒアリング
  - ・精神障がい部会としての地域課題の集約
- ④交流企画の実施
  - ・当事者の企画によって、事業所間の交流を図ることを目的として実施
  - ・備北丘陵公園で交流企画を実施（70人が参加）
- ⑤市が実施した長期に入院をされている人へのアンケートへの協力
- ⑥情報共有
  - ・各事業所や地域での取組について情報共有
  - ・研修会やイベントなどの案内

## 児童部会

### 【目的など】

子どもたちが明るく楽しく生きていけるよう、保護者団体で課題を共有し、行政、関係団体とも連携しながら課題解決に向けた話し合いや取り組みを行うことを目的としています。主な活動として、余暇活動の充実のための保護者企画や地域とのつながりづくりのための取り組み、情報交換、学習会等を行っており、これらの活動を通して、団体間の親睦を深めています。

### 【構成団体】

①西部地域の療育を豊かにする会②広島県立廿日市特別支援学校PTA③たーとる(肢体不自由児の会)④くれよん保護者会⑤さいき障がい児と親の会「みかん」⑥よしわ障がい児と親の会「つぼみ」⑦ハーモニー/ハーモニーキッズ⑧障がい児をもつ親の会「メロディ」⑨西部こども療育センターなぎさ園地域別グループたけのっこ⑩広島自閉症協会

### 【平成26年度 取り組み計画】

①おりづる出前教室  
②夏休み工作教室  
③地域とのつながりづくりアンケート  
④第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み

### 【これまでの主な取り組み】

- ・リーフレット「なってください!サポーターに」作成(知的障がい部会と共同)(平成20年度)  
→イオン研修(平成23年度)  
→廿日市警察署管内コンビニエンスストア連絡協議会に参加(平成24年度)
- ・「放課後・長期休暇ワークショップ」(平成21年度)
- ・「サポートファイル学習会」(平成21、22年度)
- ・「おでかけ先情報カード作成」(平成22年度)
- ・「夏休み・留守家庭児童会アンケート」実施(放課後・長期休暇ワーキングと共同)(平成22年度)
- ・「発達障がい児のための進路ステップ学習会」(平成23・24年度)
- ・“地域とのつながりづくり”アンケート第1弾実施(平成23年度)  
→アンケート第2弾実施、主任児童委員さんとの顔合わせ(平成24年度)
- ・「みんなで学ぼう!!成年後見制度のイロハ」(平成23年度)
- ・「冬の宮島親子スタンプラリー」(平成24年度)
- ・夏休み工作教室(平成25年度)
- ・「放課後等デイサービス学習会」(平成25年度)
- ・保護者交流会「宮島散策」(平成25年度)
- ・「支援者(保護者)が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」(権利擁護部会と共催)(平成25年度)
- ・おりづる出前教室「レクスポ」「ハンドメイド」(平成23年度～)

### 【平成26年度 取り組み報告】

今年度は、おりづる出前教室と夏休み工作教室、“地域とのつながりづくり”アンケート、第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組みを行いました。

おりづる出前教室では、スポーツ交流センターおりづるのスポーツ指導員さんにお越しいただき、レインボーマッチシュート、スロービー等、さまざまなレクリエーションスポーツを楽しむことができました。今年度で2回目となる夏休み工作教室は企画、当日の運営を保護者で行い、ぷるぷるゼリーキャンドル、モザイクタイルのルームプレートづくりを行いました。

平成23年度に初めて実施した“地域とのつながりづくりアンケート”では、つながり状況の確認や新たに児童部会に所属される方のつながり希望の確認を行うため、毎年アンケートを実施することとなり、アンケート内容の見直しを行いました。そして、主任児童委員さんと障がいのある子ども、その保護者とのつながりづくりのお手伝いをさせていただきました。

第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組みでは、第二次廿日市市障がい者福祉計画の読み合わせと新たな課題抽出を行いました。



定例会の様子



宮島スタンプラリー



夏休み工作教室

## わかりやすい情報部会

### 【目的など】

障がいのある方に制度や地域生活を送るために役立つ情報を発信していくことを目的として、よりわかりやすい情報提供の方法の検討などを行っています。また、はつかいち福祉ねっとの取り組みを広く知っていただくことも目的としています。

### 【これまでの主な取り組み】

- ・福祉サービスガイドブック作成（平成20年度）  
福祉サービスガイドブック改訂（平成24年度）
- ・事業所紹介DVD作成（平成20年度）  
（協力：廿日市市市民活動センター）
- ・事業所一覧の作成・更新（平成21年度～）
- ・ホームページ開設・更新（平成22年度～）

### 【構成団体】

- ①廿日市市障害福祉課
- ②きらりあ

### 【平成26年度 取り組み計画】

- ①事業所リストなど、最新の情報が提供できるよう努める
- ②お役立ち情報や案内などを定期的にHPにアップしていく
- ③第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み

### 【平成26年度 取り組み報告】

今年度は、事業所一覧の更新、ホームページの更新などを行いました。

事業所一覧は、7月・2月の全体会に合わせて内容の更新を行い、各事業所が立ち上がった年度や、新しくできた事業所が分かりやすいよう、今年度からは開設年度を記載しました。また、はつかいち福祉ねっとホームページに、ねっとの各部会の定例会の報告や、研修会の案内を掲載し、情報発信をしています。

年4回発行している「はつかいち福祉ねっと通信」は、福祉ねっと関係者以外の方にも、ねっとの活動を知っていただけるよう、新たに廿日市市内の市民センター、保育園等への配布を開始しました。



ガイドブック作成のための会議の様子



福祉サービスガイドブック



はつかいち福祉ねっとホームページ

## 福祉就労ワーキング

### 【目的など】

福祉サービス事業所の連携による仕事づくりや販路拡大による工賃アップ、働く場づくり、そして日中活動の充実をめざして活動しています。

### 【構成団体】

- ①くさのみ作業所②ピクトハウス③夢工房
- ④にじのえき⑤コーヒーショップあんず
- ⑥さくら作業所⑦ハナミズキ⑧あいあい作業所
- ⑨ワークハウスアダージョ⑩障害者支援施設原
- ⑪広島ひかり園⑫大野ふれあい生活介護事業所
- ⑬友和の里⑭工房ハクナマタタ
- ⑮PIECE 宮内キャリアサポート
- ⑯多機能事業所ぱすてる

### 【平成26年度 取り組み計画】

- ①各事業所の取り組みや製品などの情報交換
- ②info.表参道、市役所ロビー販売、商工はつかいちの折込作業、市役所ロビーショーケース展示などのプロジェクトの進捗状況の確認
- ③第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み

### 【平成26年度 取り組み報告】

- ・定例的な会議で各事業所の取り組みなどを発表しながら、情報共有を行いました。事業所商品のカタログの更新などを行いました。
- ・これまで取り組んできたプロジェクトを継続して行いました。また、新たに協働で取り組める仕事として、市役所からアンケートのデータ入力や一般企業からの仕事の情報提供を行いました。

### 【これまでの主な取り組み】

- ・ワーキングの中で各事業所の現状報告をしながらの情報共有
- ・事業所商品の PR  
事業所商品のカタログを作成し、イベントなどの景品として使用してもらう。  
カタログについては市のHPに掲載中  
市役所ショーケースでの展示
- ・協働して取り組める仕事の開拓  
商工はつかいちの封入作業  
割り箸の回収作業  
アンケートのデータ入力作業  
その他の内職作業、etc
- ・販路などの拡充に向けての取り組み  
販路開拓のために宮島で事業所商品の見本市を実施  
info.表参道での常設販売  
市役所ロビー常設販売開始



会議での様子



info.表参道の店内



商工はつかいち



市役所ショーケース

## 特別支援学校卒業生ワーキング

### 【目的など】

「特別支援学校卒業生の就労の場が不足している」という課題の解決に向けて協議検討するとともに、各事業所・特別支援学校（廿日市市在住の生徒が在籍する市外特別支援学校も含む）の情報共有や廿日市特別支援学校卒業予定者の進路調整を行うことを目的にしています。

### 【構成団体】

①広島県立廿日市特別支援学校②くさのみ作業所  
③ピクトハウス④夢工房⑤ハートフルあまの⑥工房ハクナマタタ⑦友和の里⑧ワークハウスアダージョ⑨障害者支援施設原⑩大野ふれあい生活介護事業所⑪ハローワーク⑫広島西障がい者就業・生活支援センターもみじ⑬ぱすてる⑭ぱすてる大野原⑮就労支援センターアーチ⑯PIECE宮内キャリアサポート

### 【これまでの主な取り組み】

- ・学校の卒業生見込み数と事業所の受け入れ見込み把握（平成 21 年度）
- ・広島西障がい者就業・生活支援センターもみじが参加メンバーに加わる（平成 22 年度）
- ・廿日市市外の特別支援学校も参加（夏休み期間中 1 回）スタート（平成 23 年度）
- ・廿日市市外の特別支援学校への声掛けのルール決定（平成 24 年度）
- ・特別支援学校卒業生等にかかる就労継続支援 B 型の利用取扱い等について調整（平成 25 年度）

### 【平成 26 年度 取り組み計画】

- ①特別支援学校と進路先関係者等による情報共有（年 3 回）  
※夏休み期間中ワーキング（2 部構成）  
前半：廿日市特別支援学校、市外特別支援学校にご参加いただき、市内福祉事業所の情報共有  
後半：廿日市特別支援学校卒業予定者について廿日市特別支援学校と事業所でケース共有
- ②特別支援学校卒業生等にかかる就労継続支援 B 型の利用取扱い等について調整
- ③第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み



廿日市特別支援学校見学

### 【平成 26 年度 取り組み報告】

今年度は、年 3 回のワーキングを開催しました。夏休みのワーキングでは、前半に廿日市市在住の生徒がいる市外特別支援学校にも参加していただき、各事業所の次年度受け入れ予定などの情報共有を行い、後半に廿日市特別支援学校と関係する事業所・機関のみで進路調整を行いました。

また、経過措置期間が終了し、平成 27 年度から特別支援学校卒業後にダイレクトに就労継続支援 B 型事業所を利用することができなくなる（就労移行支援事業所で「B 型利用が適切かどうか」の Assessment が必要になる）ため、就労移行支援事業所も含めた会議を開催し、現場に合わせた調整を行いました。



夏休みワーキング

## ライフステージにおける発達支援部会

### 【目的など】

ライフステージを通して、切れ目ない発達支援ができるような体制整備に向けた検討を行うことを目的にしています。

### 【構成団体】

①広島西こども発達支援センターくれよん②市教育委員会③市児童課④市健康推進課⑤市障害福祉課⑥きらりあ

### 【平成26年度 取り組み計画】

①ポジティブライフガイドの見直し  
②サポートファイルの普及啓発  
③第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉策定に向けた取り組み

### 【これまでの主な取り組み】

- ・社会資源（保育・教育・福祉）、相談支援の現状整理（平成20年度）
- ・サポートファイルの普及啓発  
→関係者会議、モニター実施（平成21年度）  
→「サポートファイル学習会」（児童部会・知的障がい部会と共同）（平成22年度）  
→「サポートファイル支援者向け学習会」（平成25年度）
- ・「発達障害児市町支援体制推進事業サポート会議」（平成23年度）
- ・「広島県発達障害市町サポートコーチ事業」利用（平成24年度）
- ・発達障がいのある人のための窓口紹介リーフレット「ポジティブライフガイド」作成（平成24年度）  
→配布スタート（平成25年度）
- ・学習会「発達障がいの基礎知識」（平成24年度）

### 【平成26年度 取り組み報告】

今年度は、年2回の部会を開催し、発達障がいのある人の相談窓口リーフレット「ポジティブライフガイド」の見直しを行いました。

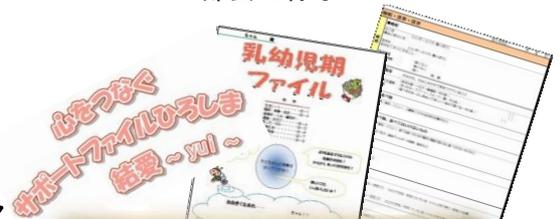
また、「心をつなぐサポートファイル結愛」の普及啓発に関する取り組みとして、児童発達支援事業所の職員のみなさんと活用方法について協議しました。



部会の様子

「心をつなぐ サポートファイルひろしま 結愛」  
ゆい

このファイルは、医療機関情報や生育歴・相談歴などを保護者が記入するもので、「ライフステージにおいて関係する機関が変わるごとに、これまで受けてきた支援の内容や子どものことを初めから説明しなくてはならず、さらに説明した内容が十分に伝わらず、支援に反映されない」等の保護者のおもいから広島県が作成したものです。



サポートファイル学習会

### 「ポジティブライフガイド」

平成22年度～23年度にかけて実施された、広島県発達障害児市町支援体制推進事業において、「本市は、発達障がいに関する相談窓口が不明確である」という課題が指摘されたことを受けて、ライフステージにおける発達支援部会で協議検討し、平成24年度広島県発達障害市町サポートコーチ事業を活用して作成した「発達障がいのある人の相談窓口リーフレット」です。



ポジティブライフガイド

## 地域生活支援部会 余暇活動支援ワーキング

### 【目的など】

障がいのある人たちの余暇活動の充実を目的にしています。

当初は、障がいのある子どもたちの放課後長期休暇中の課題（居場所づくり等）解決のために立ち上げたワーキングでしたが、子どもたちの社会資源が増えてきたため、現ワーキングへと移行しました。

### 【構成団体】

- ①市社会福祉協議会
- ②市障害福祉課
- ③きらりあ

### 【これまでの主な取り組み】

- ・関係事業所情報交換会（平成25年度）
- ・放課後長期休暇スキルアップ研修（平成25年度）

### 放課後長期休暇ワーキング（平成20～24年度）

- ・社会資源整理
- ・放課後長期休暇ニーズ調査（平成20、21年度）
- ・長期休暇オープンスペース（平成22～24年度）
- ・おりづる講習会（支援者対象）（平成23年度）
- ・関係事業所情報交換会（平成20～24年度）

### 【平成26年度 取り組み計画】

- ①障がい者スポーツ体験会（10月11日（土））
- ②第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み

### 【平成26年度 取り組み報告】

今年度は、“障がい者スポーツ”をツールに、余暇を楽しむきっかけづくり・場所づくりに取り組みました。

まず開催したのは、「障がい者スポーツ体験会（10月11日（土））」です。参加者は、当事者と介助者等で42人。また、支援者としてスポーツ推進委員、山陽女子短大や社協プラチナ大学受講生、個人ボランティアの方たち24人にご協力いただきました。

当日は、「より楽しい企画に！」ということで、スタンプラリー形式（景品付き）を採用。景品資金調達のため、8月のくさのみまつりではバザー出店も行いました。

第2弾企画としては、「カローリング交流会」（2月28日（土））を予定しています。



景品資金調達のためにバザー出店



障がい者スポーツ体験会の様子



景品（アダージョ、くさのみ、ピクトハウス製品）



障がい者スポーツ体験会の様子  
（マイ自助具によるスポーツ吹き矢）

## 訪問介護事業所連絡会

### 【目的など】

「事業所同士の横のつながりが持てる機会があれば」の声で立ち上がった連絡会です。学習、情報交換、情報共有を通し、個々のスキルと地域力UPをめざしています。連絡会でのつながりが現場の支援に役立っています。問

### 【構成団体】

①大野ふれあい居宅介護事業所②訪問介護事業所第2清鈴園③あうる介護サービスセンター④ニチケアセンター廿日市⑤サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市⑥さいきせせらぎ園訪問介護事業所⑦ヘルパーステーションケーアイ⑧コアラ訪問介護事業所⑨土谷ヘルパーステーション阿品⑩オムエルヘルパーステーション⑪もみじ介護センター⑫(株)アッシュ⑬生協ひろしま介護サービス・廿日市⑭廿日市市社会福祉協議会訪問介護センター⑮介護ステーションケアノス⑯ヘルパーステーションあすか

### 【平成26年度 取り組み計画】

- ①研修会「障がいのある人への対応～思春期をむかえるにあたって～」
- ②利用者・ヘルパーの交流会
- ③長期休暇中の障がいのある子どもたちへの支援
- ④ヘルパー不足対策を検討
- ⑤第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み

### 【平成26年度 取り組み報告】

今年度は、研修会「障がいのある人への対応～思春期をむかえるにあたって～」を開催しました。講師は河村理英子先生（河村小児科）。ヘルパーさんを中心に約100名の方が参加され、みなさんに共通する学びたいテーマであったことを感じました。

また、前年度に引き続き、長期休暇（移動支援）中には、児童さん・ヘルパーさんの休憩場所に、あいプラザリハビリ室をオープンスペースとして9日間開放しました。うち、1日は利用者・ヘルパーの交流会ということで、ボランティアさんがバルーンアートを披露してくださいました。交流会は春休みにも企画予定です。

第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組みは、事業所ごとにヒアリング調査に回答をするかたちで、廿日市市の現状と課題、今後に向けての希望をあげました。

ヘルパー不足対策については、ヘルパー不足がどの事業所にも共通する深刻な課題であることの共有までは進んでいますが、打開策等の検討には至っておらず引き続きの検討課題です。

### 【これまでの主な取り組み】

- ・講演会「気分障害について」（平成22年度）
- ・広島県障害者地域移行促進強化事業「ヘルパーさんのための精神保健福祉講座」（平成23年度）
- ・なちゅは介護セミナー（平成24、25年度）
- ・救命講習（平成24、25年度）
- ・利用者・ヘルパー交流企画（バルーンアート、障がい者スポーツ）（平成24、25年度）
- ・長期休暇オープンスペース（平成25年度～）



救命講習



なちゅは介護セミナー



研修会「障がいのある人への対応」



訪問介護事業所連絡会 定例会

## 権利擁護部会

### 【目的など】

権利擁護に関する研修会開催を中心に、はつかいち福祉ねっと全体の権利擁護意識を高めることを目的に取り組んでいます。

### 【構成団体】

- ① コーヒーショップあんず
- ② エスペランサ
- ③ 広島西医療センター
- ④ サンキ・ウエルビィ介護センター廿日市
- ⑤ ヘルパーステーションケーアイ
- ⑥ 市社会福祉協議会

### 【平成26年度取り組み計画】

#### ① 研修会

「権利擁護について～当事者の方から～」

「成年後見制度・福祉サービス利用援助事業かけはしについて」

- #### ② 第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み

### 【これまでの主な取り組み】

- ・ 権利擁護  
研修「みんなで学ぼう！！権利擁護の基礎について」（講師：谷川ひとみさん）（平成21年度）
- ・ 成年後見制度  
研修「みんなで学ぼう！！成年後見制度のイロハ」（講師：谷川ひとみさん）（平成23年度・児童部会共催）  
研修「成年後見制度のここが知りたい～身近なものとするために～」（講師：谷川ひとみさん）（平成24年度・精神障がい部会共催）  
研修「成年後見制度講演会」（講師：谷川ひとみさん）（平成25年度）
- ・ 虐待防止  
研修「障害者虐待防止—おこさないために&起こってしまったら—私たちにできること」（講師：田中清美さん）（平成24年度）  
研修「障がいのある人の権利擁護と虐待防止について」（講師：森木聡人さん）（平成25年度）
- ・ その他  
部会内部研修「事例検討におけるスーパービジョン」（講師：木村雅昭さん）（平成22年度）  
研修「自己評価について」（講師：井上予志栄さん）（平成23年度）  
研修「支援者（保護者）が知っておくべき障害年金手続きの始め方・取り組み方」（講師：松原智治さん、山下千絵さん）（平成25年度・児童部会共催）

### 【平成26年度取り組み報告】

今年度は権利擁護と成年後見制度をテーマに研修会を企画しました。

権利擁護研修は、「権利擁護研修会～障がいのある当事者の視点から～」（平成24年10月23日（木））と題し、大元誠司さん・平山圭紀さんからお話しいただきました。

成年後見制度研修「安心して暮らしていくために知っておきたいこと」（平成25年3月3日（火））は、谷川ひとみさん（谷川社会福祉士事務所）と廿日市市社会福祉協議会の職員さんを講師に、成年後見制度や福祉サービス利用援助事業かけはし、今年度からスタートする法人後見等について教えていただきます。

第3次廿日市市障がい者計画・第4期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組みとして、権利擁護部会はそれぞれの事業所でヒアリング調査に回答をするかたちで、廿日市市の現状と課題、今後に向けての希望をあげました。



成年後見制度研修



虐待防止研修

## 相談支援部会

### 【目的など】

障がい福祉サービス等の利用者全員に作成することとなった「サービス等利用計画（障がい児支援利用計画）」の提供体制整備及び相談支援専門員の資質向上を目的としています。

### 【構成団体】

- ①相談支援事業所原②さくら相談支援事業所③指定特定相談支援事業所広島ひかり園④相談支援事業所そら⑤障害児相談支援事業所PIECE宮園⑥相談支援事業所くさのみ⑦あうるサポートセンター⑧コアラ相談支援事業所⑨相談支援事業所いっぼ⑩相談支援事業所あおぞら⑪特定相談支援事業所友和の里⑫相談支援事業所エスペランサ⑬あうる介護サービスセンター⑭廿日市市社会福祉協議会訪問介護センター⑮コーヒーショップあんず⑯アマノリハビリテーション病院⑰エスペランサ⑱生協ひろしま介護サービス・廿日市⑲PIECE宮内キャリアサポート⑳PIECE宮園㉑多機能事業所ぱすてる㉒スプリングコート

### 【これまでの主な取り組み】

- ・サービス等利用計画作成に関する講演会、演習等（平成 24 年度～）
- ・事業所間情報交換（平成 24 年度～）
- ・調査活動（タイムスタディ）（平成 25 年度）
- ・オリジナル資料作成（虎の巻、計画相談に関する疑問と整理（Q & A）、相談支援専門員一覧）（平成 24 年度～）
- ・事業所紹介（平成 24 年度～）
- ・Dropbox 活用による情報共有（平成 24 年度～）



グループワークの様子

### 【平成 26 年度 取り組み計画】

- ①相談支援専門員の質の向上、サービス等利用計画の質の向上のための取り組み
- ②新たな相談支援事業所参入のための取り組み
- ③第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組み



グループワークでのファイリング方法共有

### 【平成 26 年度 取り組み報告】

毎月第 4 火曜日に定例会を開催し、「市からの情報提供」「サービス等利用計画作成に関する情報共有」「学習」「グループワーク」という流れを継続しています。

今年度の学習では「計画相談に関する疑問と整理（Q & A）」の振り返り「事務処理要領」「介護保険」「虎の巻振り返り」「支給決定の概要」「ライフステージ移行の際の支給決定」、グループワークでは、「ファイリングの工夫」「部会の運営内容」「基本相談実態調査の項目整理」などをテーマに取り組みました。

そして、新たに「事業所見学ツアー」を開催し、事業所情報シートを作成するという取り組みもスタートしました。

第 3 次廿日市市障がい者計画・第 4 期廿日市市障がい福祉計画策定に向けた取り組みとしては、各事業所で「ヒアリングシート」を記入し、その共有を行いました。

### 事業所情報

事業所名	PIECE宮内 キャリアサポート		運営主体（法人名）	(株) オフィスクラ										
サービスの種類	就労移行支援・就労継続支援B型 (多機能事業所)		サービス管理責任者	担当業務支援管理責任者										
見学窓口（担当者）	(職名) 管理者(名前) 神 亮美 (TEL) 30-8881													
所在地	〒738-0034 廿日市宮内4-6-7 TEL (0829) 30-8881 FAX (0829) 30-8882 E-mail piecemiyauchi@yahoo.co.jp ホームページ													
定員数 (1日当たり)	移行支援: 6人 B型: 14人	登録者数	5人	主たる 対象者										
	送迎(あり/なし)	給食(あり/なし)	入浴(あり/なし)	知的障がい者・精神障がい者										
エリア: 費用: その他:	費用: その他:	費用: その他:	費用: その他:											
活動方針・理念、事業所PR等	基本理念 ひよどり、もどくり、もどくり、しあわせづくり 事業方針 障がいのある方が地域社会で生活していくお手伝いをします 事業所PR: 発達障がいの方がたの就労支援・生活づくりのお手伝いをさせていただきます													
作業・活動内容	自主商品(小物雑貨等)制作・販売、野菜栽培・販売、軽作業、施設外実習等													
スケジュール														
曜日	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	土	日	備考	
10:00														

事業所情報シート

## 地域生活支援部会 地域生活の仕組みづくりワーキング

### 【目的など】

精神科病院に長期入院されている人が、地域生活を送ることができるような仕組みづくりについて検討を行ったり、すでに地域で生活を送っている人たちが、より良い生活が送れるよう、社会資源の開拓などをしていくことを目的としています。

### 【構成団体】

①あいあい作業所②脳外傷友の会「広島シェイキングハンズ」廿日市市地区会③友和病院④訪問看護ステーションゆうわ⑤訪問看護ステーションこころ〜れ廿日市⑥エスプランサ⑦にじのえき⑧コーヒョップあんず⑨さくら作業所⑩広島県西部保健所

### 【これまでの主な取り組み】

- ・研修  
「“地域で暮らしたい”をサポートするために」(平成 22 年度)  
「病院の退院についての取り組みを学ぶ」(平成 25 年度)

### 【平成 26 年度 取り組み計画】

- ・継続して制度学習・情報共有の場を持ち、課題抽出を行う。
- ・具体的な取り組みに向け、実働している事業所から現状を学ぶ。

### 【平成 26 年度 取り組み報告】

- ・市が実施した長期入院されている人へのアンケートに協力（平成 26 年度）

## 地域生活支援部会 防災アンケートプロジェクト

### 【目的など】

当事者やご家族の方が、防災や減災について日頃どのように感じているか等をアンケートにより聞き取りを行い、今後の取り組みなどを検討していくことを目的としています。

### 【構成団体】

①廿日市市障害者団体連絡会②くさのみ作業所③さくら相談支援事業所④ハーモニー／ハーモニーキッズ⑤危機管理課

### 【これまでの主な取り組み】

- ・防災に関するアンケートを当事者団体や事業所やの協力をえながら実施し集約する。
- ・研修  
「災害に備え、今から、やっておくこと」  
～防災を切り口に新しい福祉の形を創り出そう～（平成 23 年度）

### 【平成 26 年度 取り組み計画】

アンケート結果をプロジェクトの中で引き続き検討し、具体的な取り組みにつなげていく。

### 【平成 26 年度 取り組み報告】

今年度については未実施

#### 廿日市市地域自立支援ネットワーク防災アンケート

平素より、市地域支援ネットへのご協力まことにありがとうございます。さて、近年、市内に減災活動が活発に展開され、多くの方々の関心が高まっております。しかし、一方で、「何なのか分からない」、などの声もあり取り組みができない方々もおられるのが現状です。このため、市地域支援ネットでは、当事者・ご家族の方が、防災・減災についてどのように感じ、ニーズに合わせて、少しでも取り組みができるような環境づくりを一層進めてまいります。つきましては、大変お手数をおかけいたしますが、アンケート調査の趣意を、皆様お一人お一人の率直なご意見を賜りたく、ご協力をよろしく願いたします。

(1)この調査に記入していただくのはどなたですか。(一つに○)

1. ご本人
2. 家族(代筆をふくむ)
3. 支援者(代筆をふくむ)